

長崎県公立学校管理職員研修（県立学校） 実施要項

1 目的

長崎県内の県立高等学校及び県立特別支援学校に勤務する校長・教頭に対して、「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」に基づき、学校経営及び今日的な教育課題に関する研修を計画的に実施し、本県管理職員に求められる資質能力の向上を図る。

2 内容

次に示す研修を行い、詳細は別表のとおりとする。なお、選択研修希望調査については別紙の選択講座申込要領に基づき行う。

（１）新任研修（集合研修、オンライン研修）

（２）２年目研修（選択研修：必修）

（３）３年目以降の研修（選択研修：推奨）

推奨とは２年に１回を目安とする。

3 対象

（１）その職としての学校勤務年数に応じて研修を受けるものとする。その職として格付けされた行政勤務年数は除く。

（２）長崎市立長崎商業高等学校、長崎大学教育学部附属特別支援学校に勤務する校長・教頭も対象とするが、受講の判断はそれぞれによる。

4 免除・延期

（１）その職１年経過後、行政勤務を経て再びその職として学校に異動した場合は、２年目研修を免除する。

（２）研修受講年度に教職大学院、在外教育施設等へ派遣されている場合は、当該年度の研修を免除する。

（３）一定の事由により受講ができない（一部未受講も含む）場合は、個別に協議する。

5 その他（旅費について）

（１）新任・２年目研修については、高校教育課より別途令達する。

（２）３年目以降の研修については、学校配当予算とする。

別表

長崎県公立学校管理職員研修（高等学校・特別支援学校）概要

【教頭】

新任研修	学校経営、今日的課題についての講義・演習等 ・前期【集合研修】 「危機管理・特別支援教育・人事評価・教育法規」ほか ・後期【オンライン研修】 「課題協議・講話」	3日間 前期(2日間) ・4/20(木) 21(金) 後期(1日間) ・9/26(火)
2年目研修	自己課題に基づきセンター講座等を選択受講(必修)	1講座(年間)
(3年目以降)	自己課題に基づきセンター講座等を選択受講(推奨)	1講座(年間)

【校長】

新任研修	学校経営、今日的課題についての講義・演習 ・前期【集合研修】 「特別支援教育・危機管理・人事管理」「マネジメント研修」ほか ・後期【オンライン研修】 「課題協議・講話」	3日間 前期(2日間) ・6/12(月) 13(火) 後期(1日間) ・11/7(火)
2年目研修	自己課題に基づきセンター講座等を選択受講(必修)	1講座(年間)
3年目以降	自己課題に基づきセンター講座等を選択受講(推奨)	1講座(年間)

選択講座申込要領

1 申込み対象研修及び選択可能講座


対象研修	選択可能講座
任用前研修（必修）	県教育センター公開講座（選択番号１～８）
２年目研修（必修）	県教育センター・長崎大学公開講座（選択番号１～３９）
３年目以降の研修（推奨）	

2 申込み方法

県教育センターWebサイトの「学校支援サイト玖島の杜」から対象者が直接申し込む。

3 申込み手順

- （１）県教育センターWebサイト（<https://www.edu-c.news.ed.jp/>）にアクセスする。
- （２）トップページにある「学校支援サイト玖島の杜」のバナーをクリックする。
- （３）「玖島の杜」トップページで「ログインＩＤ」と「パスワード」を入力しログインする。

ログインＩＤ	パスワード	QRコード
kanriken	kanriken1000ta	

- （４）メニューから「管理職研修申込み」をクリックする。
- （５）「令和５年度 管理職研修 任用前・２年目・３年目以降選択講座申込み」の入力画面上で、８項目について必要事項を入力し「決定」をクリックする。
「選択講座番号」の入力は、「選択講座一覧表」を見ながら希望する講座の選択番号を選ぶ。
- （６）確認画面で入力内容を確認し、間違いがなければ「決定」をクリックする。
- （７）その後表示されるページで右上の印刷ボタンをクリックし、印刷したものを保管する。
- （８）このWeb上での申込み完了をもって受講決定とする。
研修講座への受講申込みや事前提出資料を提出する必要はない。

4 留意点

- （１）講座を選択する際は、行事等と重ならないように確認する。
- （２）入力確定後に変更が必要な場合は、市町教育委員会を通して県教育センターに連絡する。
- （３）申込み期日

選択番号９、１０、２２の講座については令和５年４月１４日（金）その他の講座については令和５年４月２１日（金）までとする。

令和5年度 管理職員研修 選択講座一覧表(任用前・2年目・3年目以降)

1 県教育センター会場の公開講座

(1) 各講座は、県教育センターで実施する研修の一部を公開講座とするものですが、講座によって受講の形態が異なります。その違いを、「講座番号」欄の下段に(型)と示しています。内訳は次の通りです。(複数の型が示されている講座は、その中から一つ選択して受講することになります。)

- S型：【集合型】・・・県教育センターにおいて、研修期日に受講する研修
R型：【リアルタイム型】・・・所属校等において、研修期日に県教育センターとオンラインでつなぎ、リアルタイムで受講する研修
O型：【オンデマンド型】・・・所属校等において、指定した期間内に県教育センターが配信する動画を視聴するなどして受講する研修
オンデマンド型の視聴期間については、受講者へ改めてお知らせします。

講座の型に変更が生じた場合は、その時点で県教育センターから受講希望者に連絡いたします。

- (2) 公開講座のタイトルは、今後変更となることもあります。
(3) 新型コロナウイルス感染予防措置が必要な期間中は、会場でのマスク着用をお願いします。
(4) 来所の際は、できる限り公共交通機関の利用をお願いします。

選択 番号	期日	講座番号	指標	公開講座タイトル
1	令和5年6月26日(月) 10:30~12:10	セ24 (S、R、O型)	G H K M	「自立活動の指導リーダー研修講座 ～今後求められる自立活動の専門性と学校における組織的な力量形成の在り方について～」 一木 薫 氏(福岡教育大学 教授)
2	令和5年9月13日(木) 13:00~15:30	セ42 (R型)	C H I L	「いじめの防止と対応研修講座 ～いじめ問題に関する学校における組織的対応～」 藤平 敦 氏(日本大学 教授)
3	令和5年9月22日(金) 13:30~15:30	セ45 (R、O型)	C D H K	「全校種対象『キャリア教育実践研修講座』～実践から学ぶキャリア教育～」 京免 徹雄 氏(筑波大学 助教)
4	令和5年11月6日(月) ～12月4日(月)	セ66 (O型)	B K	「情報モラル教育研修講座 ～1人1台時代のデジタル・シティズンシップ教育～」
5	令和5年12月1日(金) ～12月29日(金)	セ79 (O型)	E H	「高校産業教育研修講座 ～地域産業の創生と人材育成～」
6	R5.5/8～R5.8/31 R5.11/1～R6.1/31	セ203、220 (O型)	C K L M	「特別支援学級及び通級による指導基礎研修講座(公立小・中学校管理職・教務主任等)」 【オンデマンド型研修講座】県教育センター特別支援教育研修班
7	令和5年7月31日(月) 14:30~16:30	セミナー1 (S、R、O型)	A B K	ステップアップセミナー「批判的思考を活かして学びを深める」 楠見 孝 氏(京都大学大学院 教育学研究科長)
8	令和5年11月7日(金) 13:20~15:40	セミナー2 (S、R、O型)	E G K	学校経営セミナー「学校組織マネジメントと人材育成」 曾余田 浩史 氏(広島大学大学院 教授)

2 長崎大学(教職大学院管理職養成コース)会場の公開講座

- (1) 受講前に必ず、長崎大学大学院教育学研究科のホームページ(<https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/news/>)で講義場所等を確認してください。
講師の都合等により日時が変更となる可能性があります。この場合もホームページで情報提供いたします。
(2) 講師の役職等は令和4年度現在のものです。人事異動等により、講師・所属が変更となる場合があります。
(3) 新型コロナウイルス感染予防措置が必要な期間中は、会場でのマスク着用をお願いします。
(4) 選択番号9～21の講座は、長崎大学教育学部教員による講義であり、主に理論的視点から学校教育を読み解く内容となっており、当該科目は「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」の主にA、B、C、Dに該当する内容となっています。
(5) 選択番号22～39の講座は、長崎県内の実践者等を招聘し、実践的視点から学校教育を読み解く内容となっており、当該科目は「長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標」の全項目を網羅する内容となっています。

選択 番号	期日	講座番号	指標	公開講座タイトル
9	令和5年4月21日（金） 14:30～16:00	リー ダー の 役 割 と 資 質	第2回 A B C D	「いじめ・不登校をめぐる課題と対応」 山岸 利次 氏（長崎大学教育学部 准教授）
10	令和5年4月28日（金） 14:30～16:00		第3回 A B C D	「学校における「ケア」の理論」 山岸 利次 氏（長崎大学教育学部 准教授）
11	令和5年5月12日（金） 14:30～16:00		第4回 A B C D	「子どもの貧困と虐待 学校・教師に何ができるか」 小西 祐馬 氏（長崎大学教育学部 准教授）
12	令和5年5月19日（金） 14:30～16:00		第5回 A B C D	「ヤングケアラー 学校・教師に何ができるか」 小西 祐馬 氏（長崎大学教育学部 准教授）
13	令和5年5月26日（金） 14:30～16:00		第6回 A B C D	「学校教育の現在地 学習指導要領をどう読み解くか」 長谷川 哲朗 氏（長崎大学大学院教育学研究科 教授）
14	令和5年6月2日（金） 14:30～16:00		第7回 A B C D	「スクールリーダーの課題」 長谷川 哲朗 氏（長崎大学大学院教育学研究科 教授）
15	令和5年6月9日（金） 14:30～16:00		第8回 A B C D	「現代若者の育ちと新任教員支援」 榎 景子 氏（長崎大学教育学部 准教授）
16	令和5年6月16日（金） 14:30～16:00		第9回 A B C D	「外国語教育からみる小中連携の課題と展望」 中村 典夫 氏（長崎大学大学院教育学研究科 教授）
17	令和5年6月23日（金） 14:30～16:00		第10回 A B C D	「学校と地域を結び直すための原理的検討」 榎 景子 氏（長崎大学教育学部 准教授）
18	令和5年6月30日（金） 14:30～16:00		第11回 A B C D	「発達障害の配慮と支援」 吉田 ゆり 氏（長崎大学教育学部 教授）
19	令和5年7月7日（金） 14:30～16:00		第12回 A B C D	「保護者支援」 吉田 ゆり 氏（長崎大学教育学部 教授）
20	令和5年7月14日（金） 14:30～16:00		第13回 A B C D	「GIGAスクール構想に対するリーダーの視点と展望」 倉田 伸 氏（長崎大学教育学部 准教授）
21	令和5年7月21日（金） 14:30～16:00		第14回 A B C D	「教育データ活用に対するリーダーの視点と展望」 倉田 伸 氏（長崎大学教育学部 准教授）
22	令和5年4月26日（水） 14:30～16:00	学 校 経 営 総 論	第3回 A～M	「管理職の視点で取り組む学力向上」 山崎 直人 氏（長崎市立諏訪小学校 校長）
23	令和5年5月10日（水） 14:30～16:00		第4回 A～M	「学校経営における特別支援教育の実践」 分藤 賢之 氏（県教育庁特別支援教育課 課長）
24	令和5年5月17日（水） 14:30～16:00		第5回 A～M	「教育行政における人事施策」 初村 一郎 氏（県教育庁高校教育課 人事管理監）
25	令和5年5月24日（水） 14:30～16:00		第6回 A～M	「組織における多様性 - 男女共同参画の視点から」 有吉 佳代子 氏（男女参画・女性活躍推進室 室長）
26	令和5年5月31日（水） 14:30～16:00		第7回 A～M	「PTAと学校経営」 東川 勝哉 氏（元日本PTA全国協議会 会長）
27	令和5年6月7日（水） 14:30～16:00		第8回 A～M	「地域と学校の連携・協働」 棕本 博志 氏（長崎市立長浦小学校 校長）
28	令和5年6月14日（水） 14:30～16:30		第9回 A～M	「まちづくりと学校経営」 森 一峻 氏（一般社団法人 東彼杵ひとものこと公社 代表理事）
29	令和5年6月21日（水） 14:30～16:00		第10回 A～M	「中学校における学校経営」 高坂 英晃 氏（長崎市立梅香崎中学校 校長）
30	令和5年6月28日（水） 14:30～16:00		第11回 A～M	「高等学校における学校経営」 鶴田 栄次 氏（長崎県立長崎東高等学校 校長）
31	令和5年7月5日（水） 14:30～16:00		第12回 A～M	「養護教諭からみた学校経営」 岩崎 佳代 氏（県教育庁体育保健課 係長）
32	令和5年7月12日（水） 14:30～16:00		第13回 A～M	「学校事務からみた学校経営」 宇土 宏 氏（長崎市立桜馬場中学校 事務主幹）
33	令和5年10月23日（月） 14:30～16:00	学 校 危 機 管 理 の 理 論 と 実 践	第3回 A～M	「学校経営における危機管理」 西村 一孔 氏（大村市教育委員会 教育政策監）
34	令和5年10月30日（月） 14:30～16:00		第4回 A～M	「最新の学校危機管理事案、警察連携の視点等」 市田 恒明 氏（県教育庁児童生徒支援課 参事）
35	令和5年11月6日（月） 14:30～16:00		第5回 A～M	「体罰・ハラスメント（不祥事全般、働き方改革等）」 岡野 利男 氏（県教育庁義務教育課 参事）
36	令和5年11月13日（月） 14:30～16:00		第6回 A～M	「子どもの貧困」 山本 倫子 氏（長崎県こどもの貧困対策統括コーディネーター）
37	令和5年11月20日（月） 14:30～16:00		第7回 A～M	「リーガルマインドからみた学校教育」 鷲見 賢一 氏（長崎県弁護士会 弁護士）
38	令和5年11月27日（月） 14:30～16:00		第8回 A～M	「いじめ・不登校対応における危機管理」 林田 純雄 氏（県教育センター教育相談班 指導主事）
39	令和5年12月4日（月） 14:30～16:00		第9回 A～M	「要保護児童をめぐる関係機関との連携」 伊福 大剛 氏（長崎こども・女性・障害者支援センター 課長）

長崎県 校長等としての資質の向上に関する指標（令和5年3月改訂）			職名	校種
			校長等	小中高特
求められる姿 視 点		学校の最高責任者として、校務をつかさどり、所属職員を監督し、学校経営を展開する	管理職員として取り組むべき課題	
(1) 高い 識見	A 教育理念	人間理解と深い洞察に基づく教育理念をもち、その理念の実現に向けた学校経営をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○研修と自らの経験を踏まえた教育理念の形成 ○人間理解と洞察力の深化 ○教育理念を踏まえた学校経営の構想 	
	B 社会的視野	時代の変化をとらえ、国内外の動向及び教育行政施策等の内容を理解するとともに、学校経営に反映させることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○国内外の動向の把握 ○国や県・市町等の教育施策等の理解 ○教育施策等に応じた取組の構想と実践 	
	C 児童生徒への愛情 教職に対する使命感	管理職員としての深い自覚のもと、県民、地域住民、保護者、児童生徒等の願いや期待を受け止めた学校経営をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職員の職務の理解 ○県民、地域住民、保護者、児童生徒等の願いや期待の把握 	
	D 長崎県への郷土愛	地域を理解し、その実態を踏まえた、「夢・憧れ・志」を育む教育活動を展開することを通して、ふるさと長崎県に誇りをもつ児童生徒を育成することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○「夢・憧れ・志」を育む取組についての理解 ○地域の実態を踏まえた自校ならではの取組の構想と実践 	
(2) 組織 マネジメント	E ビジョンや目標の 設定と検証	自校の現状を適切に分析したうえで、ビジョンや目標を設定するとともに、その実現に向け、教職員のよさを生かした組織的運営や進捗管理をするとともに、その検証を行い、改善を図ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の実態の分析 ○ビジョンや目標の設定とPDCAサイクルでの実践 ○教職員の適材適所の配置 	
	F 服務管理	遵守すべき服務について、適切に指導監督をし、コンプライアンスを徹底するとともに、個々の心身の健康に配慮した学校経営をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○職務上、身分上の監督の意義や在り方の理解 ○不祥事背景の理解と根絶のための不断の取組 ○働きやすい職場の条件整備 ○関係法規、学習指導要領、通知・通達等の理解 	
	G 人材育成	個々の教職員を適正に評価し、その能力や課題に応じて指導するとともに、次代の教育を担う人材を発掘し、計画的に育成することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○個々の教職員の能力や課題の適正な把握 ○授業や校務分掌等、日々の指導の実践 ○教職員への教育理念の継承 	
	H ファシリテーション 保護者・地域・関係 機関等との連携	「地域とともにある学校」の実現に向け、保護者や地域住民等の意見や要望等を把握し、的確に対処するとともに、学校内外の関係者の教育活動への参加を促し、外部人材を適切に活用しながら学校の教育力を高めることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域とともにある学校」の理念の理解 ○保護者や地域住民等の意見や要望等の把握と教育活動への参加促進 ○様々な広報手段の開拓と活用 ○児童福祉等の関係機関や地域団体等との連携 	
	I 危機管理	学校安全の確保に向けて、学校安全計画や危機管理マニュアル等を整備し、危機の未然防止と早期発見・早期対応の取組を組織的に行うことができる	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の実態に応じた学校安全計画や危機管理マニュアルの作成 ○学校安全の確保に向けた各方策の教職員への周知と指導 ○いじめ、体罰及びハラスメントの未然防止 	
	J 事務管理	学校経営方針に基づき、効率的・効果的な予算編成や事務処理をするとともに、適正に執行管理をすることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○学校経営方針に基づく予算編成と執行 ○ICT機器の活用等効率的・効果的な事務処理体制の構築 ○働き方改革やコスト意識等に関する教職員への指導 ○組織的な管理、監査による適正な執行管理 	
	K 教育課程の管理	日々の授業実践や校内研修を充実させ、PDCAサイクルに基づくカリキュラム・マネジメントや主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、「社会に開かれた教育課程」を実現させることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○「社会に開かれた教育課程」の理念の理解 ○研修環境の整備及び校内研修に係る指導助言 ○全校的なPDCAサイクルによるカリキュラム・マネジメント ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた不断の授業改善 	
	L 生徒指導 教育相談	生徒指導上の諸問題や、児童生徒の悩み等に対応できる教職員の能力を高め、校内の指導・支援体制を機能させるとともに、必要に応じて関係機関との連携を適切に図ることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導上の自校の課題の把握 ○教職員の児童生徒理解力と対応力の向上 ○校内指導・支援体制の強化 ○児童福祉や警察、医療等の関係機関との連携 ○「学校いじめ防止基本方針」の定期的な見直しと実践 	
	M 特別支援教育	小中高 特別支援教育の理念に基づき、個々の状況や教育的ニーズに沿った教職員の対応力を向上させるとともに、すべての児童生徒にとって望ましい教育活動を展開できる体制を機能させることができる	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の理念の理解 ○個々の障害の状況や教育的ニーズに沿った対応の推進 ○「インクルーシブ教育システム」の構築 ○福祉や医療等の関係機関及び特別支援学校との連携 	
		特 特別支援教育の理念に基づき、個々の状況や教育的ニーズに沿った教職員の専門的な対応力を向上させるとともに、地域における特別支援教育のセンターとしての役割を果たすことができる	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の理念の理解 ○個々の障害の状況や教育的ニーズに沿った専門的な対応の推進 ○「インクルーシブ教育システム」の構築 ○福祉や医療等の関係機関及び小・中・高等学校との連携 ○特別支援教育のセンター的機能の発揮 	
	N 教育に関する アセスメント	様々なデータや学校が置かれた内外環境に関する情報について収集・整理・分析し共有することができる	<ul style="list-style-type: none"> ○データ収集・整理・分析・共有 ○エビデンスに基づいた客観的判断と経験に基づいた専門的判断による意思決定 	